

## 討 論

討論とは、議員が表決の前に、議題となっている案件に対して賛成か反対かの自己の意見を表明することです。

### 議案第 42 号 加西市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について

#### 【賛成】

- 副市長に、斬新なアイデアと強力な実現力を持つ民間出身の佐伯氏を迎え、県については、市長と県知事のパイプに加えて、前副市長が県会議員となられた今、シティマネージャー制度を利用し、さらに国とのパイプをつくることで、市長の目指す5万人都市再生を実現する強力な施策展開が図れるものとする。
- 民間・県・国とのパイプをできるだけ長く活用することで、加西市がより発展するものとする。

#### 【反対】

- 任期2年の派遣に対して、わざわざ副市長制をとることに疑問がある。
- 市が進める行政のスリム化からも副市長二人制は矛盾しており、その経費を含めて組織を疲弊させるものである。

- 派遣制度の活用自体や、部長等の幹部職員で

の派遣については賛成だが、マッチングできなかった結果として、副市長まで間口を広げて官僚をポストで釣るようなことについては納得できない。

また、地方創生にかかわる全庁的な取り組みをマネジメントできる人材に必ず来ていただけののか疑問である。

- 他市に負けない魅力ある募集要項の作成と見直しを行い、志ある官僚を迎える姿勢と準備が必要である。
- 国は派遣先を100市町村程度に絞り、交付税についても地方創生への取り組みにおける成果主義を導入しようとしている。これは交付税本来の自治体の不均衡を安定させるという趣旨から外れ、自治体間競争を煽り、結果として豊かな自治体のみが生き残ることに繋がりがねない。

(議決結果) 賛成9、反対5で可決

### 議案第 42 号修正案

議案第 42 号条例案のうち、副市長の定数「2人」を「2人以内」に改める。

#### (修正理由)

国の制度の活用を前提としているが、現在のところ派遣される見通しが立っておらず、実際に派遣されるかどうか明確ではないことから、副市長が1人という状況が当面の間続くことが考えられる。

加えて、定数を「2人」という固定数でもって定めるということが、現状において市政の課題を解決し、施策を推進していく上で、副市長がさらにもう1人必要であるということの意志の表れであるとするならば、国からの派遣の有無にかかわらず、副市長2人体制でもって市政を遂行していくことになると考えられる。

以上のことから、「2人以内」と幅を持たせた表現にすることで、弾力的な登用を可能にし、条例の運用としても適切であると考えられるためである。

#### 【賛成】

- 国の制度を活用して副市長の派遣を受け、地方創生を推進したい旨は理解するが、派遣が決定した場合でも来年4月となり、しばらくは副市長一人の状態が続く。また、副市長の任期4年に対して、国からの派遣期間は原則2年となっている状況から、目的に沿った弾力的な運用ができるように定数を「2人」ではなく、「2人以内」と定めることが適切である。

#### 【反対】

- 必要なときは「2人」とし、その必要がなくなった場合に「1人」に戻すというのは、その時々に応じて、議会の議決を得るべきである。

(議決結果) 賛成3、反対11で修正案否決